

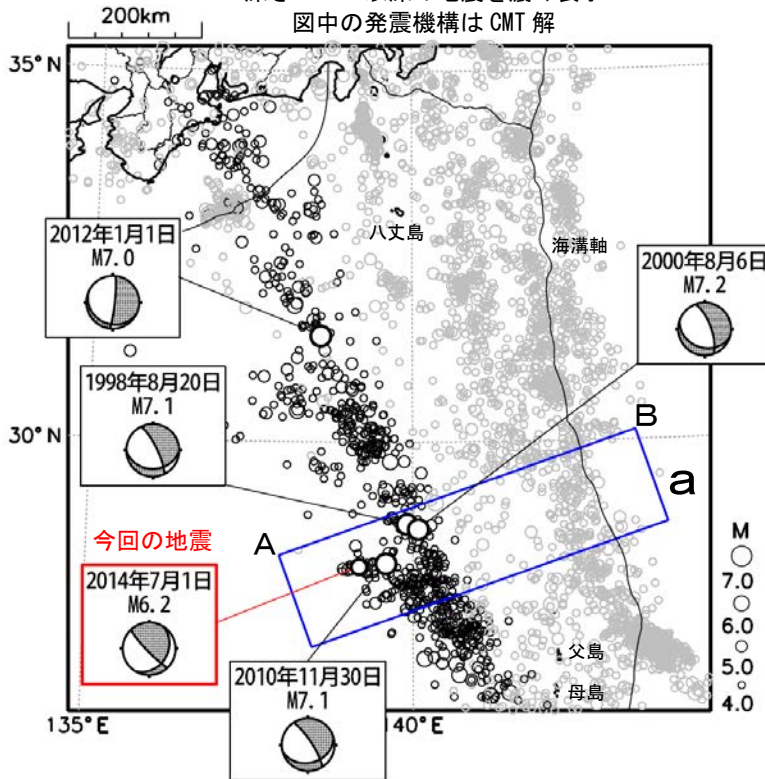
7月1日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2014年7月1日、
深さ0～600km、 $M \geq 4.0$)

深さ300km以深の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

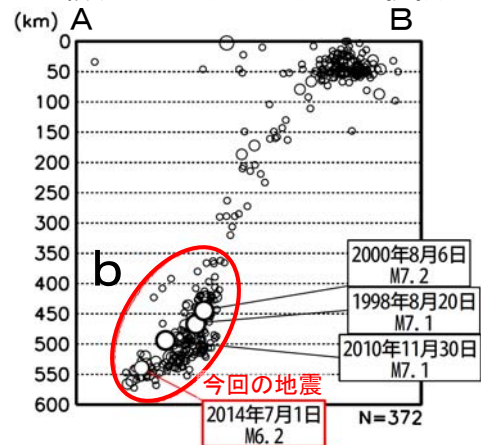


2014年7月1日04時55分に小笠原諸島西方沖の深さ539kmでM6.2の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、太平洋プレートの傾斜方向に圧力軸を持つ型である。

今回の地震の震源付近（領域b）は地震活動が活発な領域であり、1997年10月以降の活動を見ると、M7.0を超える地震が3回発生している。

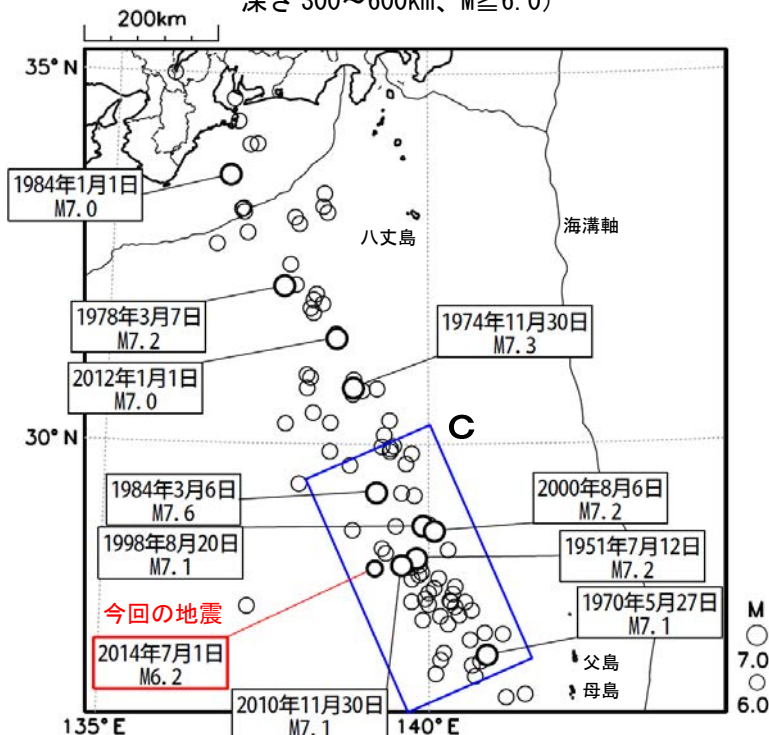
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0を超える地震が時々発生している。

領域a内の断面図（A-B投影）

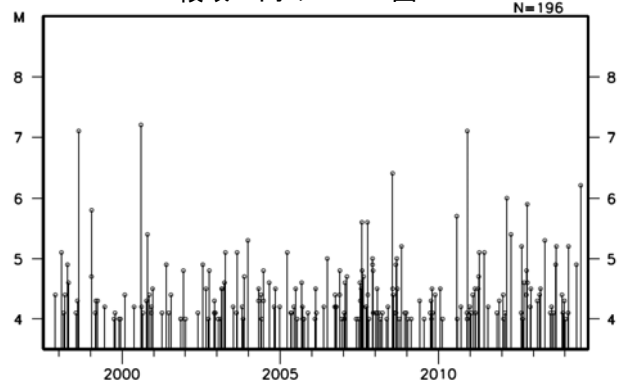


震央分布図

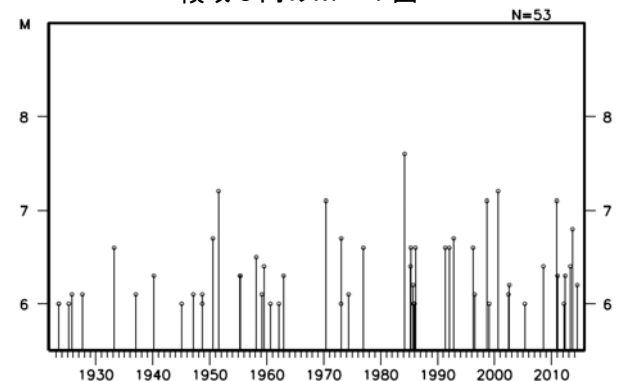
(1923年1月1日～2014年7月1日、
深さ300～600km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

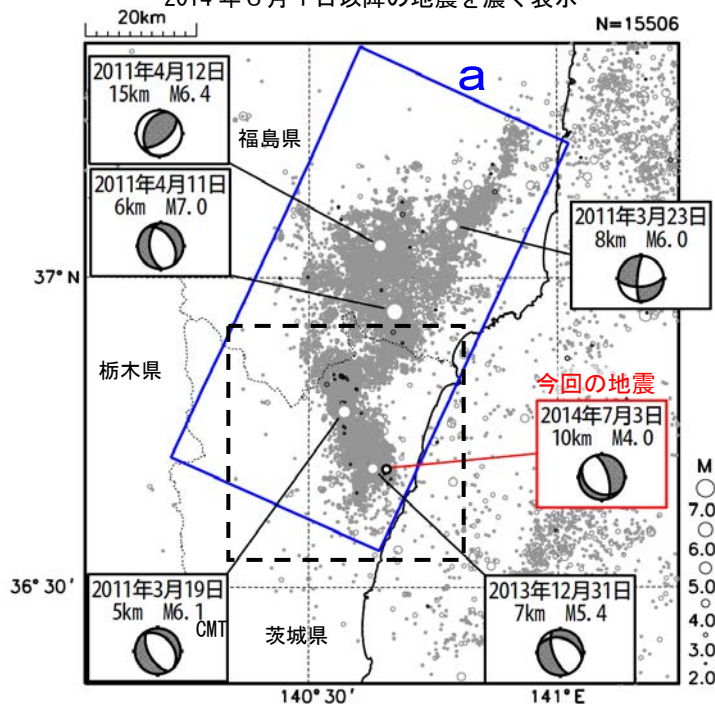


7月3日 茨城県北部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2014年7月3日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)

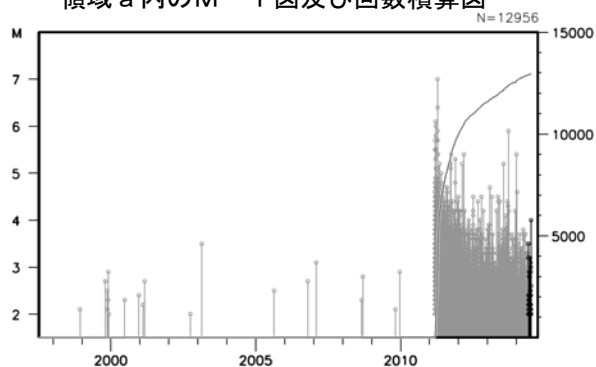
2014年6月1日以降の地震を濃く表示



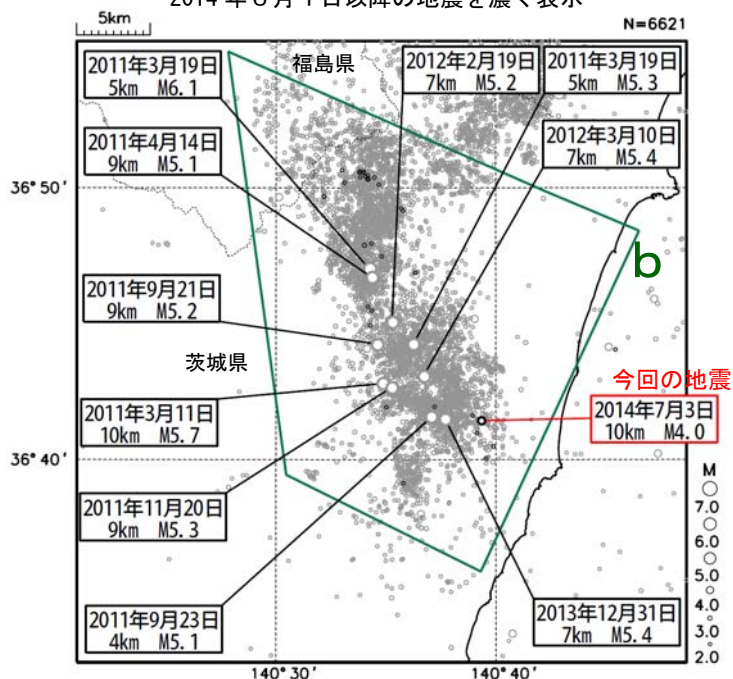
2014年7月3日07時58分に茨城県北部の深さ10kmでM4.0の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。今回の地震の震源近傍では、2013年12月31日にM5.4の地震（最大震度5弱）が発生している。

福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域a）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生後、地震活動が活発化している。今回の地震の震央付近（領域b）では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、M4.0以上の地震がしばしば発生しており、2011年3月19日には、M6.1の地震（最大震度5強）が発生している。

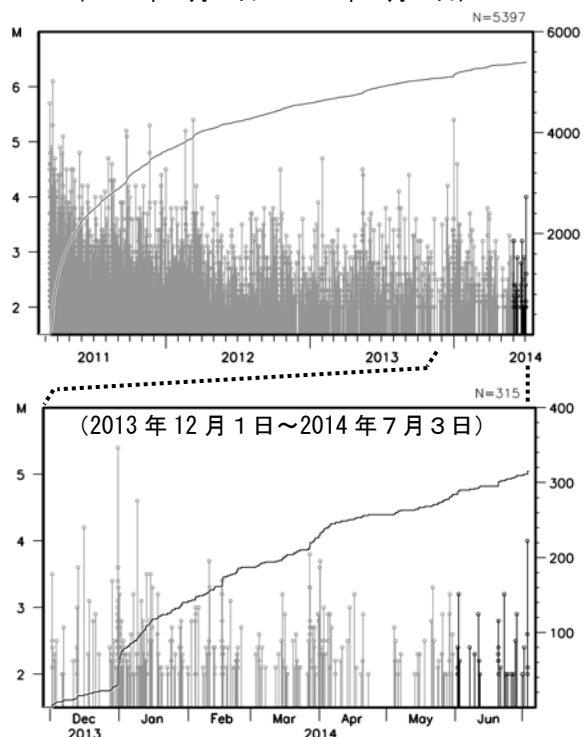
領域a内のM-T図及び回数積算図



上図の点線矩形内の震央分布図
(2011年3月1日～2014年7月3日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2014年6月1日以降の地震を濃く表示



領域b内のM-T図及び回数積算図 (2011年3月1日～2014年7月3日)

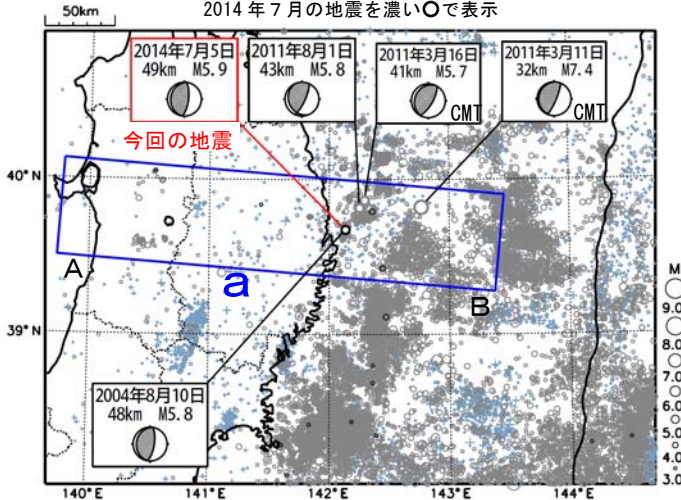


7月5日 岩手県沖の地震

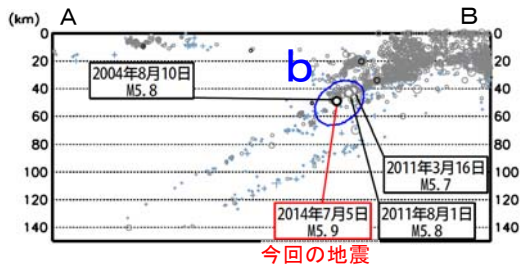
震央分布図
(1997年10月1日～2014年7月5日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○で、

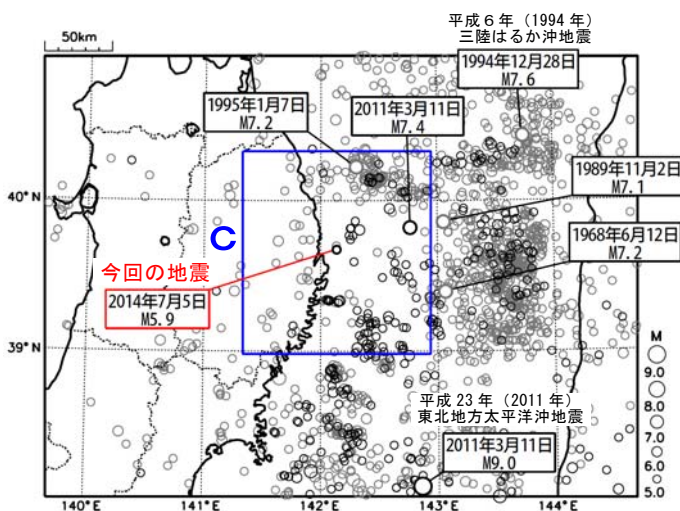
2014年7月の地震を濃い○で表示



領域a内の断面図（A－B投影）



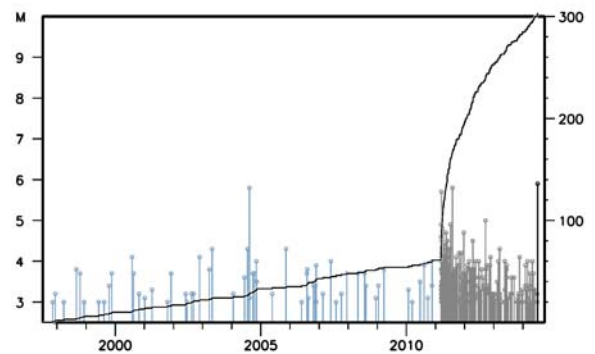
震央分布図
(1923年1月1日～2014年7月5日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
2011年3月11日以降の地震を濃く表示



2014年7月5日 07時42分に岩手県沖の深さ49kmでM5.9の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震活動が活発化している。

領域b内のM－T図及び回数積算図



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」発生以前からM6.0以上の地震が時々発生している。

領域c内のM－T図

